

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2017-506946

(P2017-506946A)

(43) 公表日 平成29年3月16日(2017.3.16)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 6 1 B 1/00 (2006.01)	A 6 1 B 1/00	2 H 0 4 O
G 0 2 B 23/24 (2006.01)	G 0 2 B 23/24	4 C 1 6 1

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2016-550262 (P2016-550262)
 (86) (22) 出願日 平成27年2月10日 (2015.2.10)
 (85) 翻訳文提出日 平成28年8月4日 (2016.8.4)
 (86) 国際出願番号 PCT/EP2015/000284
 (87) 国際公開番号 W02015/124273
 (87) 国際公開日 平成27年8月27日 (2015.8.27)
 (31) 優先権主張番号 102014002158.0
 (32) 優先日 平成26年2月19日 (2014.2.19)
 (33) 優先権主張国 ドイツ (DE)

(71) 出願人 510320416
 オリンパス・ウィンター・アンド・イベ・
 ゲゼルシャフト・ミット・ベシュレンクテ
 ル・ハフツング
 ドイツ連邦共和国, 22045 ハンブル
 ク, キューンシュトラーセ 61
 (74) 代理人 100099623
 弁理士 奥山 尚一
 (74) 代理人 100096769
 弁理士 有原 幸一
 (74) 代理人 100107319
 弁理士 松島 鉄男
 (74) 代理人 100114591
 弁理士 河村 英文

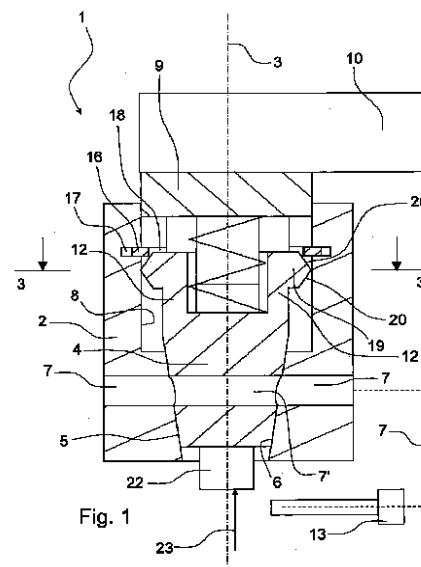
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 活栓

(57) 【要約】

本発明は、医療用内視鏡（13）の流動媒体を通す通路（7）のための活栓（1）に関し、通路（7）により貫通されるテーパ着座部（6）にコック（4）を軸（3）中心で回転可能に収容したハウジング（2）を備え、ハウジング（2）は軸（3）方向でテーパ着座部（6）に後続して軸受ブッシュ（8）を有し、軸受ブッシュに軸（3）中心で回転可能にグリップ本体（9）が支承され、グリップ本体はハウジング（2）外部でハンドグリップ（10）を支持し、軸（3）方向へスライド可能にコック（4）と回転連結され、かつこれに対して弾性作用により支持され、グリップ本体（9）は、軸（3）方向でロックするように軸受ブッシュ（8）の周回内側溝（17）に係合する、半径方向へ反発力のある係止装置（16）を有し、コック（4）はロック解除位置へと軸（3）方向へスライドした場合に係止装置（16）を軸受ブッシュ（8）と係合解除させるよう配置される。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

医療用の内視鏡（１３）の流動媒体を通す通路（７）のための活栓（１）であって、前記通路（７）により貫通されるテーパ着座部（６）にコック（４）をその軸（３）を中心として回転可能に収容しているハウジング（２）を備え、

該ハウジング（２）が、前記軸（３）の方向にて前記テーパ着座部（６）に後続するように軸受ブッシュ（８）を有し、

該軸受ブッシュには前記軸（３）を中心として回転可能となるようにグリップ本体（９）が支承され、

該グリップ本体は、前記ハウジング（２）の外部にてハンドグリップ（１０）を支持し、前記軸（３）の方向にスライド可能となるように前記コック（４）に回転連結されるとともに、これに対して弾性作用によって支持されており、

前記グリップ本体（９）が、前記軸（３）の方向にてロックを行うように前記軸受ブッシュ（８）における周回する内側溝（１７）に係合する係止装置であって、半径方向へ反発力のある係止装置を有している、活栓において、

前記コック（４）は、ロック解除位置へと前記軸（３）の方向にスライドした場合に前記係止装置を前記軸受ブッシュ（８）に対して係合解除させるように配置される構成となっていることを特徴とする、活栓。

【請求項 2】

前記係止装置は、前記グリップ本体（９）における周回する外側溝（１８）の中にて支承されたスナップリング（１６）として構成されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の活栓。

【請求項 3】

前記コック（４）は、円周方向に配分されるように配置されるとともに半径方向外側に向かって突出する複数のカム（１９）を担持し、

該カムは、前記コック（４）がロック解除位置にある場合に、前記スナップリングが拡張して前記グリップ本体（９）における前記外側溝（１８）と係合解除されるように、前記スナップリング（１６）に対して拡張状態の係合をすることを特徴とする、請求項 2 に記載の活栓。

【請求項 4】

前記カム（１９）は、前記コック（４）から前記グリップ本体（９）に向かう方向に突き出すように前記グリップ本体（９）のフィンガ（１４）の間に配置されたフィンガ（１２）の自由端に設けられていることを特徴とする、請求項 3 に記載の活栓。

【請求項 5】

前記カム（１９）は、スライド方向の両方に進入斜面（２０）を有していることを特徴とする、請求項 3 又は 4 に記載の活栓。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、請求項 1 の前提部分に記載されている種類の活栓に関する。

【背景技術】**【0002】**

極めて厳格に殺菌状態に保つことが必要とされる医療用の内視鏡には、活栓が据えつけられるようになっている。これには、内視鏡が使用されるたびに洗浄、殺菌されなければならない活栓もまた該当する。

【0003】

活栓においては、コックがそのテーパ面によってハウジングのテーパ着座部に対して圧着される。このように広い面積となる当接部は、組付状態にある場合に洗浄可能ではなくなっている。すなわち、洗浄及び殺菌をするために活栓を分解しなければならなくなっている。これは、活栓が使用されるたびに必要となることである。

10

20

30

40

50

【 0 0 0 4 】

当分野に属する活栓としては、特許文献 1 に示されるものが挙げられる。かかる活栓はコック及びこれと連結されるグリップ本体をハウジングの中に有しており、グリップ本体はスナップリングを介して軸方向でハウジングに対して支持され、このロックを外してから、コックとグリップ本体とをハウジングから取り出すことができるようになっている。しかしながら、このような構成における欠点として、そのためにグリップ本体を、予定破断個所としての役目をするスナップリングの個所で破壊しなければならないということがある。

【 先行技術文献 】

【 特許文献 】

10

【 0 0 0 5 】

【 特許文献 1 】 ドイツ特許出願公開第 1 0 1 2 6 5 4 0 A 1 号明細書

【 発明の概要 】

【 発明が解決しようとする課題 】

【 0 0 0 6 】

本発明の課題は、当分野に属する活栓を簡素かつ非破壊的に分解可能となるように構成することにある。

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 0 7 】

本発明によれば、係止装置を係合解除することができ、その後、グリップ本体とコックとをハウジングから取り出すことができる。ロック解除は、コックが軸の方向へスライドする場合における作用によって行われる。このことが当分野に属する構成において可能である理由は、そこではグリップ本体とコックとが相互に軸の方向にスライド可能に連結されているからである。

20

【 0 0 0 8 】

係止装置は、種々の形式にて、ロックボルト等を有するように構成されていてよい。請求項 2 によれば、係止装置は、グリップ本体における周回する外側溝の中で支承されるスナップリングとして構成されるのが好ましく、このことはそれ自体、冒頭に挙げた文献から公知となっている。

【 0 0 0 9 】

30

係止装置の係合解除は種々の形式で行うことができる。そのために、請求項 3 の構成要件が意図されるのが好ましい。コックにはカムが配置されていて、該カムは、コックがロック解除位置まで軸方向スライドした場合にスナップリングを内側から外側に向かって拡張させ、それは、スナップリングがコックの外側溝との係合部から引き出されるまで行われる。それによって、グリップ本体がロック解除され、コックとともにハウジングから取り出すことができるようになる。

【 0 0 1 0 】

このとき、請求項 4 に基づいて、カムは、グリップ本体のそれぞれのフィンガ間にて係合するフィンガにて構成されると好ましい。それによって、コックとグリップ本体とがスナップリングのロック解除のために必要である形式にて互いに係合できることが確保され、互いに噛み合うフィンガによって、回り止めをする形状接合がコックとグリップ本体との間で保証されることとなる。

40

【 0 0 1 1 】

このとき、請求項 5 に基づいて、カムにはそれぞれ可能なスライドの両方の方向で進入斜面が構成されていると好ましい。すなわち、カムは、活栓を分解できるようにするために、一方の方向へスライドした場合にスナップリングをロック解除できるだけでなく、組立のために他方の方向へもスライドするようになっている。

【 0 0 1 2 】

図面には本発明が一例として模式的に示され、次のものを示している：

【 図面の簡単な説明 】

50

【 0 0 1 3 】

【 図 1 】 図 3 の 1 - 1 線に基づく角度位置で本発明による活栓を示す軸方向の断面図である。

【 図 2 】 図 3 の 2 - 2 線に基づく角度位置で本発明による活栓を示す軸方向の断面図である。

【 図 3 】 図 1 又は図 2 の 3 - 3 線に沿った断面図である。

【 発明を実施するための形態 】

【 0 0 1 4 】

図 1 ~ 図 3 は、実質的に管状に軸 3 を取り囲むハウジング 2 を備える活栓 1 を種々の断面図として示している。

10

【 0 0 1 5 】

軸 3 に対して同心的に、外側のテーパ面 5 によってハウジング 2 のテーパ着座部 6 に着座するコック 4 が据えつけられている。このような良好に適合する広い面積の着座部は、封止の役目を果たすようになっている。

【 0 0 1 6 】

ハウジング 2 は、部分区域 7 ' にてコック 4 をも貫通するとともに活栓 1 の外部にて内視鏡 1 3 の中まで延びる通路 7 により貫通されている。図 1 の回転位置の場合、通路 7 , 7 ' が一直線上に並ぶ。すなわち、活栓 1 が開く。コック 4 を回すと、通路 7 を閉じることができる。

【 0 0 1 7 】

20

テーパ着座部 6 に接して、コック 4 の一部が中へ突入する軸受ブッシュ 8 がハウジング 1 にて構成されている。さらに、この軸受ブッシュ 8 には、軸 3 に対して同心的な円筒状の外面をもつグリップ本体 9 が回転支承されている。コックと反対を向いている側のグリップ本体 9 の端面には、グリップ本体 9 を回転操作する役目をするように構成されるグリップ 1 0 が取り付けられている。

【 0 0 1 8 】

グリップ本体 9 は、コック 4 とは別個に、かつこれに対して軸 3 の方向にスライド可能なように構成されている。グリップ本体 9 及びコック 4 の間には、これら両方の部品を軸 3 の方向にて互いに離れるように押圧するコイルばね 1 1 であって、軸 3 に対して同心的に構成されたコイルばね 1 1 が配置されている。

30

【 0 0 1 9 】

図 3 は、図 1 及び図 2 の 3 - 3 線に沿った断面図を示し、すなわち、コック 4 及びグリップ本体 9 間の半分の高さのところで、これらが長手方向スライドは許容するが相互の回転は阻止する回転係合をする領域で示している。図 3 に見られる通り、ハウジング 2 の内部には軸受ブッシュ 8 の領域に 4 つのフィンガが配置され、そのうち 2 つのフィンガ 1 2 がコック 4 に取り付けられ、2 つのフィンガ 1 4 がグリップ本体 9 に取り付けられている。

【 0 0 2 0 】

図 1、図 2、及び図 3 は、図 3 に示すように正確な回転連結を保証するために回転方向でわずかなクリアランスをもって構成されたフィンガ 1 2 , 1 4 の噛み合いを示している。さらに、フィンガ 1 2 , 1 4 はグリップ本体 9 に対するコック 4 の長手方向スライドを許容し、その際に、フィンガ 1 2 はコック 4 とともに動き、フィンガ 1 4 はグリップ本体 9 とともに動く。

40

【 0 0 2 1 】

図 1 及び図 2 は、軸 3 の方向にロックされた位置にてハウジング 2 及びグリップ本体 9 を示している。このロックは、通常の形式にて弾性作用により拡張可能なように構成されたスナップリング 1 6 によって実現され、このスナップリングは、図 1 及び図 2 に示すように、部分的には軸受ブッシュ 8 の内側溝 1 7 の中に位置し、部分的にはグリップ本体 9 の外面にある外側溝 1 8 の中に位置している。この個所では、図 3 のように、グリップ本体 9 は部分円周領域においてフィンガ 1 4 の形態で存在しているに過ぎない。すなわち、

50

外側溝 18 はフィンガ 14 に構成され、そこで、スナップリング 16 を保持するようになっている。

【 0 0 2 2 】

これらの間にコック 4 のフィンガ 12 が据えつけられ、その正確な形状が図 1 に示されている。フィンガ 12 の自由端に、それぞれ、軸 3 の方向で見て両方の方向に向かって進入斜面 20 を有する 1 つのカム 19 が構成されている。

【 0 0 2 3 】

グリップ本体 9 と向かい合っているコック 4 の端部に、コックは、テーパ着座部 6 の延長として開口部を通してハウジング 2 から突き出す軸方向の突起 22 を備えている。矢印 23 の方向へ突起 22 が押圧されると、コック 4 がグリップ本体 9 に向かう方向へと動く。カム 19 がその傾いた進入面 20 でスナップリング 16 の内面に達し、これを外方へ拡張させながらハウジング 2 の内側溝 17 へと押し込む。それにより、グリップ本体 9 及びハウジング 2 間の軸方向のロック作用が解消されることとなる。グリップ本体 9 を、及びこれとともにコック 4 もまた、軸の方向へ自由にハウジング 2 から押し出せるようになる。このようにして活栓 1 が全体として分解される。

10

【 0 0 2 4 】

洗浄と殺菌とが行われてからの組立は非常に容易である。ばね 11 をグリップ本体 9 とコック 4 との間に配置し、これらをフィンガ 12 乃至 14 で互いに嵌め合わせ、その様子は図 3 に示されている。スナップリング 16 は内側溝 17 の中に配置される。

【 0 0 2 5 】

引き続いて、コック 4、ばね 11、及びグリップ本体 9 から成る組立ユニットを、軸 3 の方向にてハウジング 2 の中へ差し込む。カム 19 の進入斜面 20 がスナップリング 16 まで到達し、カムを通過させるようになるまでこれを拡張させる。すると、図 1 及び図 2 に示す組立位置が実現されることとなる。

20

【 符号の説明 】

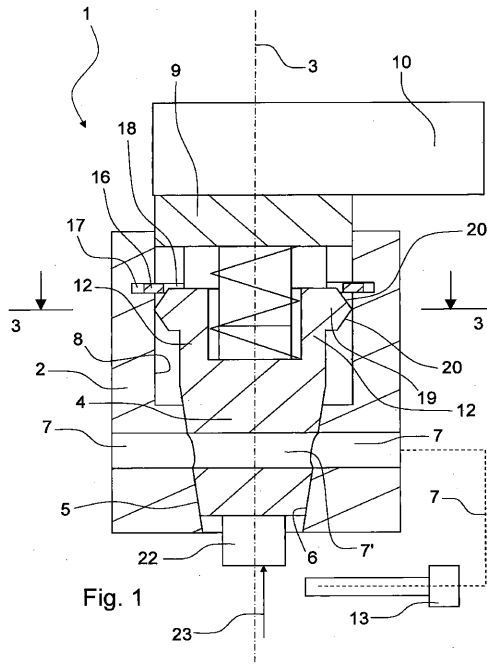
【 0 0 2 6 】

- 1 活栓
- 2 ハウジング
- 3 軸
- 4 コック
- 5 テーパ面
- 6 テーパ着座部
- 7 通路
- 8 軸受ブッシュ
- 9 グリップ本体
- 10 グリップ
- 11 コイルばね
- 12 フィンガ (コック)
- 13 内視鏡
- 14 フィンガ (グリップ)
- 16 スナップリング
- 17 内側溝
- 18 外側溝
- 19 カム
- 20 進入斜面
- 22 突起
- 23 矢印

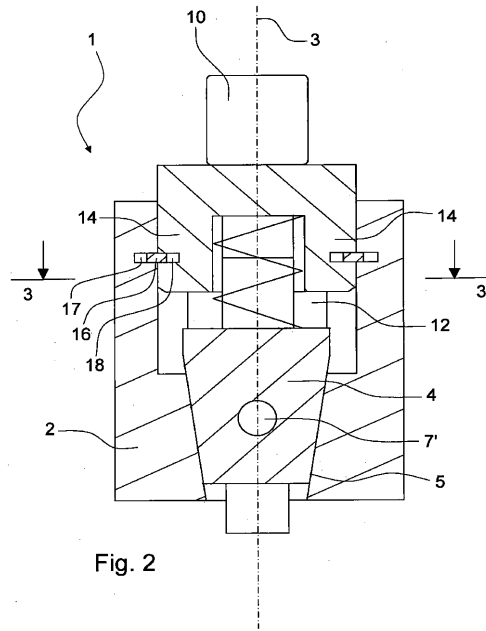
30

40

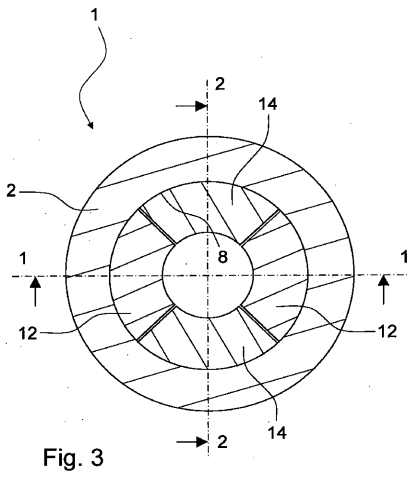
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2015/000284

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

INV. F16K5/02 F16K27/06 F16K5/16
ADD. A61B1/00 A61M39/22

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
F16K A61B A61M

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

EPO-Internal, WPI Data

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	DE 101 26 540 A1 (WINTER & IBE OLYMPUS [DE]) 19 December 2002 (2002-12-19) cited in the application abstract paragraphs [0010] - [0020] figure 1 claim 1 -----	1,2
X	DE 198 19 814 C1 (WINTER & IBE OLYMPUS [DE]) 24 June 1999 (1999-06-24) column 2, line 11 - column 3, line 28 figure 1 -----	1
A	DE 42 26 770 A1 (MAUK RUDOLF [DE]) 19 May 1994 (1994-05-19) column 3, line 52 - column 4, line 27 figures 8, 9 ----- -/-	1-5

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents :

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

14 April 2015

Date of mailing of the international search report

24/04/2015

Name and mailing address of the ISA/

European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2
NL - 2280 HV Rijswijk
Tel. (+31-70) 340-2040,
Fax: (+31-70) 340-3016

Authorized officer

Gärtner, Andreas

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No

PCT/EP2015/000284

C(Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US 2011/253925 A1 (GUO MING-LUNG [TW]) 20 October 2011 (2011-10-20) figures 1-4 paragraphs [0011] - [0023] -----	1-5
A	US 3 788 599 A (CLOYD H) 29 January 1974 (1974-01-29) column 1, line 30 - column 2, line 28 figures 3, 4 -----	1-5
A	US 3 779 513 A (LEVINE M) 18 December 1973 (1973-12-18) figures 3, 5, 7 column 3, line 10 - column 4, line 34 -----	1-5

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/EP2015/000284

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
DE 10126540	A1	19-12-2002	DE 10126540 A1 19-12-2002
			FR 2825282 A1 06-12-2002
			US 2002179878 A1 05-12-2002
DE 19819814	C1	24-06-1999	NONE
DE 4226770	A1	19-05-1994	NONE
US 2011253925	A1	20-10-2011	TW 201135108 A 16-10-2011
			US 2011253925 A1 20-10-2011
US 3788599	A	29-01-1974	DE 2332256 A1 24-01-1974
			FR 2191047 A1 01-02-1974
			IT 986218 B 20-01-1975
			JP S4957418 A 04-06-1974
			US 3788599 A 29-01-1974
US 3779513	A	18-12-1973	CA 988494 A1 04-05-1976
			JP S4956220 A 31-05-1974
			US 3779513 A 18-12-1973

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Internationales Aktenzeichen

PCT/EP2015/000284

A. KLASSIFIZIERUNG DES ANMELDUNGSGEGENSTANDES INV. F16K5/02 F16K27/06 F16K5/16 ADD. A61B1/00 A61M39/22		
Nach der Internationalen Patentklassifikation (IPC) oder nach der nationalen Klassifikation und der IPC		
B. RECHERCHIERTE GEBIETE Recherchierter Mindestprüfstoff (Klassifikationssystem und Klassifikationssymbole) F16K A61B A61M		
Recherchierte, aber nicht zum Mindestprüfstoff gehörende Veröffentlichungen, soweit diese unter die recherchierten Gebiete fallen		
Während der internationalen Recherche konsultierte elektronische Datenbank (Name der Datenbank und evtl. verwendete Suchbegriffe) EPO-Internal, WPI Data		
C. ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN		
Kategorie*	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Betr. Anspruch Nr.
X	DE 101 26 540 A1 (WINTER & IBE OLYMPUS [DE]) 19. Dezember 2002 (2002-12-19) in der Anmeldung erwähnt Zusammenfassung Absätze [0010] - [0020] Abbildung 1 Anspruch 1	1,2
X	DE 198 19 814 C1 (WINTER & IBE OLYMPUS [DE]) 24. Juni 1999 (1999-06-24) Spalte 2, Zeile 11 - Spalte 3, Zeile 28 Abbildung 1	1
A	DE 42 26 770 A1 (MAUK RUDOLF [DE]) 19. Mai 1994 (1994-05-19) Spalte 3, Zeile 52 - Spalte 4, Zeile 27 Abbildungen 8, 9	1-5
----- -/-		
☒ Weitere Veröffentlichungen sind der Fortsetzung von Feld C zu entnehmen ☒ Siehe Anhang Patentfamilie		
* Besondere Kategorien von angegebenen Veröffentlichungen : "A" Veröffentlichung, die den allgemeinen Stand der Technik definiert, aber nicht als besonders bedeutsam anzusehen ist "E" frühere Anmeldung oder Patent, die bzw. das jedoch erst am oder nach dem internationalen Anmeldedatum veröffentlicht worden ist "L" Veröffentlichung, die geeignet ist, einen Prioritätsanspruch zweifelhaft erscheinen zu lassen, oder durch die das Veröffentlichungsdatum einer anderen im Recherchenbericht genannten Veröffentlichung belegt werden soll oder die aus einem anderen besonderen Grund angegeben ist (wie ausgeführt) "O" Veröffentlichung, die sich auf eine mündliche Offenbarung, eine Benutzung, eine Ausstellung oder andere Maßnahmen bezieht "P" Veröffentlichung, die vor dem internationalen Anmeldedatum, aber nach dem beanspruchten Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist "T" Spätere Veröffentlichung, die nach dem internationalen Anmeldedatum oder dem Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist und mit der Anmeldung nicht kollidiert, sondern nur zum Verständnis des der Erfindung zugrundeliegenden Prinzips oder der ihr zugrundeliegenden Theorie angegeben ist "X" Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann allein aufgrund dieser Veröffentlichung nicht als neu oder auf erfinderischer Tätigkeit beruhend betrachtet werden "Y" Veröffentlichung von besonderer Bedeutung; die beanspruchte Erfindung kann nicht als auf erfinderischer Tätigkeit beruhend betrachtet werden, wenn die Veröffentlichung mit einer oder mehreren Veröffentlichungen dieser Kategorie in Verbindung gebracht wird und diese Verbindung für einen Fachmann naheliegend ist "Z" Veröffentlichung, die Mitglied derselben Patentfamilie ist		
Datum des Abschlusses der internationalen Recherche		Absenddatum des internationalen Recherchenberichts
14. April 2015		24/04/2015
Name und Postanschrift der Internationalen Recherchenbehörde Europäisches Patentamt, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016		Bevollmächtigter Bediensteter Gärtner, Andreas

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Internationales Aktenzeichen

PCT/EP2015/000284

C. (Fortsetzung) ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN		
Kategorie*	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Betr. Anspruch Nr.
A	US 2011/253925 A1 (GUO MING-LUNG [TW]) 20. Oktober 2011 (2011-10-20) Abbildungen 1-4 Absätze [0011] - [0023] -----	1-5
A	US 3 788 599 A (CLOYD H) 29. Januar 1974 (1974-01-29) Spalte 1, Zeile 30 - Spalte 2, Zeile 28 Abbildungen 3, 4 -----	1-5
A	US 3 779 513 A (LEVINE M) 18. Dezember 1973 (1973-12-18) Abbildungen 3, 5, 7 Spalte 3, Zeile 10 - Spalte 4, Zeile 34 -----	1-5

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Angaben zu Veröffentlichungen, die zur selben Patentfamilie gehören

Internationales Aktenzeichen

PCT/EP2015/000284

Im Recherchenbericht angeführtes Patentdokument	Datum der Veröffentlichung	Mitglied(er) der Patentfamilie	Datum der Veröffentlichung
DE 10126540 A1	19-12-2002	DE 10126540 A1	19-12-2002
		FR 2825282 A1	06-12-2002
		US 2002179878 A1	05-12-2002

DE 19819814 C1	24-06-1999	KEINE	

DE 4226770 A1	19-05-1994	KEINE	

US 2011253925 A1	20-10-2011	TW 201135108 A	16-10-2011
		US 2011253925 A1	20-10-2011

US 3788599 A	29-01-1974	DE 2332256 A1	24-01-1974
		FR 2191047 A1	01-02-1974
		IT 986218 B	20-01-1975
		JP S4957418 A	04-06-1974
		US 3788599 A	29-01-1974

US 3779513 A	18-12-1973	CA 988494 A1	04-05-1976
		JP S4956220 A	31-05-1974
		US 3779513 A	18-12-1973

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US

(74)代理人 100125380

弁理士 中村 綾子

(74)代理人 100142996

弁理士 森本 聡二

(74)代理人 100166268

弁理士 田中 祐

(74)代理人 100170379

弁理士 徳本 浩一

(74)代理人 100180231

弁理士 水島 亜希子

(72)発明者 プロマースマ, ピーター

ドイツ連邦共和国, 2 2 9 4 1 バルクテハイデ, アム・マイスフェルト 4 5

Fターム(参考) 2H040 BA24 DA57 EA01

4C161 FF11 HH14 JJ06

专利名称(译)	活栓		
公开(公告)号	JP2017506946A	公开(公告)日	2017-03-16
申请号	JP2016550262	申请日	2015-02-10
[标]申请(专利权)人(译)	奥林匹斯冬季和IBE有限公司		
申请(专利权)人(译)	奥林巴斯冬季和事件GESELLSCHAFT米特Beshurenkuteru-有限公司		
[标]发明人	ブロマースマピーター		
发明人	ブロマースマ,ピーター		
IPC分类号	A61B1/00 G02B23/24		
CPC分类号	A61B1/00068 A61M39/22 A61M2039/229 F16K5/0292 F16K5/166 F16K27/062 A61B1/00137 F16K31/602		
FI分类号	A61B1/00.332.A G02B23/24.A		
F-TERM分类号	2H040/BA24 2H040/DA57 2H040/EA01 4C161/FF11 4C161/HH14 4C161/JJ06		
代理人(译)	河村 英文 中村綾子 田中宇 徳本光一		
优先权	102014002158 2014-02-19 DE		
其他公开文献	JP2017506946A5 JP6205501B2		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

本发明涉及一种用于通道(7)的旋塞阀(1)，医用内窥镜(13)的流体介质通过该旋塞阀，并且旋塞(4)设置在被通道(7)穿透的锥形座部分(6)中。壳体(2)围绕轴(3)可旋转地容纳，并且壳体(2)具有沿轴(3)的方向跟随锥形座(6)的轴承衬套(8)。握柄主体(9)围绕轴(3)可旋转地支撑，握柄主体将手柄(10)支撑在壳体(2)外部，并且旋塞(4)可沿轴(3)的方向滑动。握柄主体(9)可旋转地连接至其并通过其弹性作用而被支撑，并且握柄主体(9)与轴承衬套(8)的内周槽(17)接合，从而沿轴(3)的方向锁定。它具有在径向上具有排斥力的锁定装置(16)，并且旋塞(4)在沿轴(3)的方向滑动到解锁位置时，将锁定装置(16)用作轴承衬套(8)。脱离罐被放置。[选型图]图1

